

令和6年度 学校評価

2024/04/18
愛知県立東海南高等学校

本年度の重点目標		①バランスの取れた全人的な成長のための教育活動の充実 ③目標と過程を明確にして学びに向かう姿勢を育てる指導の充実 ⑤生徒一人一人の心身の健康を支える支援の充実		②進路希望の実現に適した教育課程の選択による学びの充実 ④主体性と協働する力を育てる部活動や学校行事の実践 ⑥職員の業務改善の推進	
分掌	項目	重点目標	具体的方策	留意事項	
教務部	学習指導	・確かな学力の育成をめざした指導の充実 ・業務の分担・効率化	・確かな学力の育成をめざし、主体的・対話的で深い学びとなる指導法を工夫し授業改善に努める。特に「学びに向かう力」の育成へ重点を置く。 ・全体を考えた役割分担と、役割の中で負担偏重とならないような業務の分担化をし、様々な場面で臨機応変に分掌員が分掌員をサポートし、円滑な業務進行を心がける。	・生徒が主体的に対話的な学びができるような環境づくりをする。 ・業務内容を推敲し、効率化しながら、記録を残し年度末の引継ぎまで見据えて業務を行う。	
総務部	防災教育	・防災教育の充実	・防災日より定期的に発行し、生徒の危機管理・安全意識を高揚させる。 ・防災委員会を中心として、避難訓練のやり方の改善を図る。	・教員主体ではなく生徒が主体的に考えて行動するように心がける。	
生徒指導部	生徒指導	・挨拶のできる生徒の育成 ・時間を守ることでできる生徒育成 ・いじめ、盗難等のない安全で安心できる学校づくり	・挨拶や受け答え、職員室・体育教室の入室等大人の対応ができること。 ・8時30分までに校門を通過することや学校行事など集団が集まるときに、時間を守ることができること。 ・ボランティア活動や行事、講話等を通じて「おもしろい」のある行動がとれること。	・登下校時の指導やホームルーム等のさまざまな指導の機会を捉え、挨拶のできる生徒を育成する指導を積み重ねる。 ・問題行動やいじめ、いやがらせ等生徒情報のアンテナを広く張り、早目の対応をする。	
進路指導部	(進路指 導教育)	・キャリア教育の充実に向けた指導運営体制づくり ・大学入試の変化への対応策の構築	・系統的な進路行事を計画的に実施し、また進路情報の積極的な発信をすることにより、生徒が主体的に自らの進路目標を設定できるようにする。 ・大学入試に関する情報収集と整理・検討を学年と連携を取って適切に行い、職員間で共有する。	・学年および校外の機関と連携し、効果的な行事の実施を工夫する。 ・大学入試改革について、講演会やその他、研究会等へ参加し、多面的多角的な視点の情報収集に努め、職員に伝達する場を積極的につくる。	
保健部	環境整備・安全 教育	・健康観察の徹底及び傷病発生の防止 ・校内清掃とゴミ分別の徹底	・H/R担任による朝の健康観察を徹底する。 ・「ほけんだより」において傷病予防等を扱い、注意喚起する。 ・各清掃担当教員からの清掃指導を充実させるとともに、美化委員からの声掛けにより教室でのゴミ分別を徹底する。	・担任による日々の健康観察記録ができていかな確認する。 ・「ほけんだより」の作成では、生徒保健委員を参加させて意識の向上を図る。 ・清掃用具の十分な確保に努める。ゴミ分別がきちんとできているか清掃時に教員と生徒美化委員で確認を行い、不十分な場合はクラスへ連絡する。	
情報研修部	情報・視 聴覚	・教育活動における安全安心な学習用パソコン等の活用推進及びサポート ・学習用パソコン等を安全安心に使用できるルールづくり及び見直し	・各学年及び教科のサポート体制を強化し、ロイロノート、スタディサプリ、Microsoft Teams等の学習アプリの活用推進を図る。 ・学習用パソコン等の使用に関する基本的方針や利用規定について説明する場を設け、全体および個々への周知徹底を図る。	・学年及び教科、分掌と連携し、様々な場面に応じた学習アプリの活用を推進していく。 ・学習用パソコン等の使用における基本方針や利用規定の規範意識を高めていく。	
1年	学年 経営	・生活と学習の習慣を確立する。	・安易な遅刻や欠席をなくすため、担任や学年の教員でこまめな声掛けをする。 ・家庭学習が充実できるような課題の提示を工夫し、課題は必ず提出させる。	・担任会、学年会を通じて生徒の健康や学習についての情報共有に努める。 ・自ら課題を設定して取り組む姿勢を育てる。	
2年	学年 経営	・生活習慣の徹底、欠席数3ポイント台を目指す。 ・下級生の手本となるような生活態度、身だしなみや挨拶を目指す。 ・ICT機器を利用し、学力の定着を目指す。	・学年で欠席の多い生徒を確認し、多くの先生で声掛けを行う。 ・日常から身だしなみについて注意していく。 ・スタディサプリ、マナビジョンを利用して、個に応じた課題や取り組みを行えるように指示する。	・まず、授業に関わる生徒と関係を築く。 ・担任会や学年会で生徒の情報共有を行う。生徒の細かな変化に気づいたとき、職員室ですぐに話せる教員の関係を作る。	
3年	学年 経営	・最上級生として、後輩の模範となる行動ができるように指導する。 ・進路実現に向けて、最後まで努力することができるように指導する。	・学年集会などで、最上級生としての自覚をもって行動するよう呼びかける。 ・面談を通して、生徒の進路目標を明確にさせる。	・担任会や学年会を通して、情報共有する。	
安全衛生委員会	健康 障害 労働 防止 委員 会	・長時間労働に対する意識の改善 ・作業の効率化	・職場アンケートを充実させ、長時間労働に関する意識の実態を把握する ・他校や企業での実践を伝え、在校時間短縮に努める ・職場の不要な物を処分し、清掃を定期的に行う ・業務の標準化を目指し、書類やデータを整理する	・職場アンケートの内容を見直す ・長時間労働防止のための他校や企業の取り組みを学ぶ ・職場巡視を充実させる	
いじめ防止委員会	基 礎 い じ め 防 止 委 員 会	・いじめの防止と早期発見に向けての組織的な取組	・教育活動全体を通して、道徳教育・人権教育の充実を図る。 ・全職員研修を通して、いじめに対する共通理解を図り、適切に対応できる力を涵養する。 ・学年会・担任会での情報を集約し、迅速に対応する。	・生徒の変化を見逃さないよう、教科担当・部顧問からの情報収集に努める。 ・必要に応じて関係機関の協力を仰ぐ。	
管理職	適 勤 正 務 な 時 間 管 理 の	・業務内容の可視化と平準化	・分掌毎の業務内容を可視化し、精選を図る。 ・ICT利用の効果的な活用方法を模索する。 ・校務支援員との連携を図る。 ・愛知県立学校の教職員の業務量の適切な管理に関する規則・方針に基づき、在校等時間を客観的に把握し、時間外在校等時間の上限（1ヵ月45時間、1年360時間）が遵守できるよう業務改善・分担の見直し等を行う。	・1年間を見通した業務計画に基づき、繁忙期の業務分担を確認する。 ・分掌会での業務の見直しを随時行う。	